

「英語の楽しさ・英語がわかる喜び」を体感しよう

高瀬 博

「英語の楽しさ」とは何でしょうか。ただ、外国人と流暢な英語で何となく意思疎通ができればそれで十分なのでしょうか。「英字新聞」や「英文学」をすらすらと読んだり、自分の意思を英語で明確に表現する力をつけたりするのも「英語の楽しみ」ではないでしょうか。「英語」で授業をすることだけが取りざたされ、「日本語との発想の違い」を学ぶことが見逃されがちな今日、「英語の楽しさ・英語がわかる喜び」を体感することも大切だと思います。

たとえば、次のような場面を英語で表現する授業について考えてみましょう。

A: 京都駅に行く道を教えてくださいませんか。

B: 申し訳ございません、この辺は不案内です。

正解となる代表的な英文は次の表現です。

A: Would you show me the way to Kyoto Station?

B: I'm sorry I am a stranger here.

この場合、show me と tell me の使い分けに加え、stranger を使って「不案内」であることを表せる、という点を主に教えることになるかと思えます。しかしながら、そこで終わってしまえば「英語の楽しさ・英語がわかる喜び」を伝えることは困難でしょう。しかし、「英語的発想法」を学べる例文をこの例示の後に加えると、「なるほど、英語っておもしろいなあ、もっと学びたいなあ。」と生徒達の心の琴線に触れる授業ができると思うのです。次の日本語を英語で表現してみましょう。

(1) 僕はお金には縁がないんです。

(2) その芸人は、よくスキャンダルを起こす。

【解説・解答】

(1)は、日本的発想だと I have not had much money. とか I have nothing to do with money. と考えがちです。しかし、英語を母国語とするネイティブの発想だと、「お金と僕は全く見知らぬ人である」と考えて、Money and I are total strang-

ers. となるのです。同様に考え、(2)は The entertainer is no stranger to scandal. となります。つまり、stranger という語のこのような使用法を例示することにより、「どう使うか」という表現上の理解が深まるのです。いかがですか。「なるほど」と納得すると同時に、英語への興味がわいてきませんか。これこそまさに、英語教員に今求められている指導ではないでしょうか。外国人と英語でよりよいコミュニケーションを取る際にも「相手の発想法」を十分理解することは必要なことだと考えられます。

ほかに、「去る者は日々に疎し」ということわざが出てきたときに、英語では Out of sight, out of mind. であると教えて終わるのではなく、「金の切れ目が縁の切れ目」という、日常会話でよく耳にすることばも、同様の表現 Out of money, out of friends. (『スーパー・アンカー和英辞典 第3版』p. 173)で表せるのだと気づかせることができれば、生徒の学ぶ意欲も増大します。結果として、成績も上がり「一石二鳥」です。今回は、そういった「英語と日本語の発想法の違い」、特に二語動詞と名詞(形容詞)表現の関係について書いてみたいと思います。

【単純交換型】日本文と同じ意味になるように、()に適語を入れなさい。(引用元書籍名 SA=『スーパー・アンカー和英辞典 第3版』、OL=『オーレックス英和辞典 第2版』/以下同)

(3) 塩分の摂取は控えめにしなさい。

Be moderate in your () of salt. (SA p. 1275)

(4) その新興会社は映画制作に乗り出した。

The () company ventured into movie production. (OL p. 2209)

【解説・解答】

「摂取する」は take in, 「商売を始める」は start up と動詞句で表せることは学校でよく習います。

しかし、そこで終わっては進歩がありません。こうした「二語動詞」の中には「語順を入れ替える」ことにより「名詞表現」に変わるものが多いのです。この辺を指導すると、生徒たちは納得すると同時に学習意欲が向上し、その結果、語彙力もつくと思います。解答は、(3)が intake, (4)が upstart.

【交換追加型】日本文と同じ意味になるように、() に適語を入れなさい。

(5) 近づいてくる救急車には道を空けることが法律で定められている。

The law requires that you yield to / make way for an () ambulance. (SA p. 18)

(6) 僕は厳しいしつけを受けました。

I had a strict (). (OL p. 2192 を元に改作)

(7) 育ちがよいせいか、彼女はおっとりしている。

She is very easygoing probably because of her good (). (SA p. 215)

(8) 警察は見物人のうちの数人に職務質問をした。

The police questioned various of the ().
(OL p. 2206)

(9) 刑事は3年の苦勞の末、やっと容疑者を挙げた。

The detective finally arrested the suspect after three years of () investigation. (SA p. 19)

【解説・解答】

「近づく」は come on, 「(しつける)→育てる」は bring up, 「見物人」は「そばにいる(stand by)人たち」, 「苦勞する」は take pains と考えて、解答は(5)が oncoming, (6)・(7)が upbringing, (8)が bystanders, (9)が painstaking.

【単純結合型】日本文と同じ意味になるように、() に適語を入れなさい。

(10) 長雨の合間をぬって先祖の墓参りに行きました。

We visited our ancestors' grave during a short () in the middle of a rainy spell. (SA p. 6)

(11) 景品付きの販売競争は自粛すべきだ。

Companies that compete for sales by offering () should exercise self-restraint. (SA p. 621)

(12) 彼が珍妙な格好で現れたのでその場に居合わせた人々は大笑いした。

Those present burst into laughter when he appeared in such a strange (). (SA p. 849)

【解説・解答】

「雨が上がる」は let up, 「ただで与える」は give away で表せるので、解答は(10)が letup, (11)が giveaways(ちなみに「無料の景品」は freebie または freebee とも言います), (12)の「格好」は「身なりを整える(get up)」という動詞句を名詞表現にしたものなので、解答は getup.

【同様な語彙力強化例(各表現は OL より抜粋)】

- ・「生産する」は put out, 「生産高・産出量」は output.
- ・「維持する」は keep up, 「(子供などの)扶養養育費」は upkeep.
- ・「(気持ち・感情など)を高める・高揚させる」は lift up, 「(精神を)高揚させる」は uplifting.
- ・「重箱の隅をつつく」は split hairs, 「ささいなことにこだわる(こと), 重箱の隅をつつくような(こと)」は hairsplitting.
- ・「注意する, 気を付ける」は take care, 「世話をする人」は caretaker.
- ・「通り過ぎる」は go by, 「過ぎ去った[昔の]こと」は bygone.

いかがでしたか。このエッセイが少しでも「英語の楽しさ・英語がわかる喜び」を生徒に伝えるための「発想」の一助となれば幸いです。

引用・参考文献

山岸勝榮 編・著(2012)『スーパー・アンカー和英辞典 第3版』学研教育出版。

野村恵造・花本金吾・林龍次郎 編(2013)『オーレックス英和辞典 第2版』旺文社。

(福岡県立須恵高等学校教諭)